

概要

北海道立総合研究機構では、道内ものづくり企業のQCD対応力強化を図るため、道内企業の特長である多品種少量生産で労働集約型の企業形態に対応し、自社の強み、弱みを総合的に把握、判断できる「生産管理自己診断システム」を開発しました。

今回、道内ものづくり企業の現場及び管理部門の管理者等を対象に、このシステムを活用し、企業自らが改善活動を実施できる中核人材(評価担当者)を育成するための研修を開催します。

平成29年度

中核人材 育成研修

開催日

1日目:11月2日(木)

2日目:12月6日(水)

※両日のご参加をお願いします。

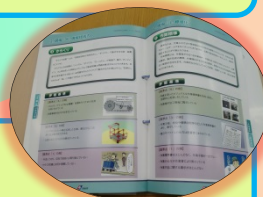
場所

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場
[札幌市北区北19条西11丁目]

参加費

無料

参加者全員に生産管理自己診断システム(解説書)を無料配布



1日目 講義

現場・管理に着目した基準の解説
○標準化、カイゼン、レイアウト、品質、
原価、工程管理、人材育成等

バリュー・イノベーション・コンサルティング 代表
経営コンサルタント

たけなか ひろみち

竹中 弘路 氏

経歴:昭和57年NECホームエレクトロニクス株式会社に入社、事業計画、生産技術、生産管理業務、工場建設、協力会社、海外生産拠点の改善指導、社内の生産革新、原価低減PJ等を担当。平成10年コンサルティングファーム(テクノ経営)に移動し、企業の経営革新、生産革新を指導。平成17年 Valueinnovation Consulting を設立。



2日目 講評

自社診断結果や改善計画への
助言や講評(診断結果報告会)

元トヨタ自動車北海道(株)
取締役技術部長

さいとう ひとし
齋藤 均 氏

経歴:昭和44年トヨタ自動車工業株式会社に入社。平成5年1月トヨタ自動車北海道株式会社生産部。平成20年6月同社取締役技術部長。平成24年6月同社退任、同社顧問に就任。平成24年8月北海道銀行顧問に就任。



生産管理自己診断システムの概要

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構 産業技術研究本部
工業試験場 製品技術部長

いいだ けんいち
飯田 憲一

自己紹介:日本生産管理学会、品質工学会、産業保健人間工学会、グローバル経営学会に所属し、製造業を中心に生産性向上(カイゼン、自動化等)を図るための試験研究及び技術支援を行っています。

◆定員:10名(各社2名・5社)程度[定員になり次第、申し込みを締め切ります]

※第2日目(12月6日(水))に「自己診断結果や改善計画の発表」を参加企業にお願いしておりますので、各社2名以上でのご参加を原則といたします。

● お問い合わせ先(申込書は裏面) ●

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター

電話番号(直通)011-747-2336

平成29年度 中核人材育成研修 参加申込書

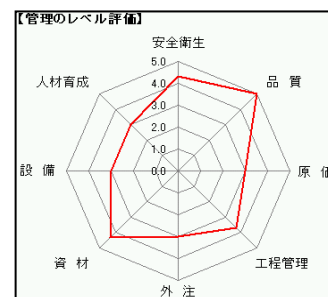
北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター菱川(ひしかわ) あて
お問い合わせ先 011-747-2336

申込締切日:10月25日(水)

◆FAXでお申込みの場合…下記の表に記入の上、この参加申込書をFAXしてください。

【FAX:011-726-4057】

◆メールでお申込みの場合…【hishikawa-yoshiyuki@hro.or.jp】に、企業名・住所・電話・FAX・参加者の所属・職・氏名を記載し、送信して下さい。



＜診断システムによるレーダーチャート例＞

企業名 (機関名)			
住 所	〒		
電 話		FAX	
E-mail			
参加者	所属	職	氏名

■プログラム■

1日目 座学 11月2日	13:00～	開会(開会挨拶)
	13:05～13:20	◆生産管理自己診断システムの概要 ・講師:(地独)北海道立総合研究機構 工業試験場 製品技術部長 飯田 憲一
	13:20～15:20	◆管理に着目した評価手法・評価基準 ・講師:パリュール・イノベーション・コンサルティング 代表 竹中 弘路 氏
	(休 憩)	
	15:30～17:30	◆現場に着目した評価手法・評価基準 ・講師:パリュール・イノベーション・コンサルティング 代表 竹中 弘路 氏
2日目 診断結果 報告会 12月6日	13:30～16:30	1日目の受講各社による自社診断結果や改善計画の発表と講評 ・講師:元トヨタ自動車北海道(株)取締役技術部長 齋藤 均 氏 " :工業試験場 製品技術部長 飯田 憲一 ・内容:企業からの自社診断結果・改善計画の発表に対して、講師から助言や講評を実施
	16:30～	閉会(閉会挨拶)

会場へのアクセス

北海道立総合研究機構 工業試験場 (札幌市北区北19条西11丁目)



○地下鉄市営南北線「北18条駅」より徒歩約15分(約1Km)

※エルムトンネルの上を通る「地上遊歩道(赤い線)」をご利用ください。

○地下鉄市営南北線「北18条駅」より車で約5分

※新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からお入りください。

※地下鉄北18条駅側から来られる場合はエルムトンネルを通る経路(青い線)をご利用ください。

○「JR札幌駅北口」より車で約15分

※新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からお入りください。

※お申込み時にいただいた個人情報については、本研修での運営目的以外では使用いたしません。